

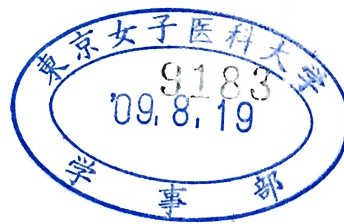
チュートリアル課題 言葉が出にくい

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-11-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/30204

2009年度 Block 4

課題 No. 1

「言葉が出にくい」



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください

飯嶋 睦 (神経内科学)

課題シート

2009-B4-T1-1

シート1

言葉が出にくい

蘭子さんは44歳の女性です。家族と温泉旅行中に、突然、めまい、ふらつきが出現し、まっすぐに歩けなくなりました。横になり安静にしていたところ、翌朝には症状は改善しました。その晩、入浴後に言葉が出にくくなりました。翌日になっても症状が改善しないため、旅先の救急病院を受診しました。

課題シート

2009-B4-T1-1

シート2

言葉が出にくい

外来医が既往歴を質問したところ、蘭子さんは半年前にも一過性に右半身の脱力を認めていました。血液検査、心電図、頭部CTを施行され、詳しい検査と治療のため入院することになりました。

課題シート

2009-B4-T1-1

シート3

言葉が出にくい

入院後、頭部MRIを施行し、すぐに点滴治療が開始されました。心臓の詳しい検査が必要と説明され、ホルター心電図、心臓超音波検査を施行されましたが、異常は指摘されませんでした。症状は数日で軽快しました。点滴治療から内服薬に変更され、蘭子さんは無事に東京に帰宅しました。

課題シート

2009-B4-T1-1

言葉が出にくい

シート4

東京に帰宅後、東京女子医科大学を紹介受診しました。神経所見は少し言葉が出にくいほかは改善していました。若年性脳梗塞の原因検索のため、詳細な血液検査と経食道心臓超音波検査、下肢静脈の超音波検査を施行することになりました。

課題シート

2009-B4-T1-1

言葉が出にくい

シート5

経食道心臓超音波検査から卵円孔開存と診断されました。下肢深部静脈内には血栓があり、主治医からワルファリンの内服を継続し、納豆は絶対に食べないようにと説明を受けました。蘭子さんは大好きな納豆が食べられなくなってがっかりしています。